

1 はじめに

本校は、学校教育目標「生きる力を身に付け、社会に貢献できる生徒の育成」を掲げ、生徒の実態に応じた課題解決のために、学力の向上に重点を置き、「思考力・判断力・表現力を高める授業づくりの研究」を研究テーマに、「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業づくりについて学校全体で研修を推進している。

3年目としてN I E 教育実践指定を生かし、思考力・判断力・表現力を高めるための積極的な新聞活用について各教科・領域等に取り組んでいる。



2 実践計画

(1) 各教科における授業での新聞活用

- ① 各教科における新聞記事を教材とした授業実践。
- ② 生徒が自ら考え表現する活動するために新聞記事の活用。

(2) 朝、帰りの学活等での新聞記事発表

- ① 朝、帰りの学活等で各自が興味を持った新聞記事を紹介した1分間スピーチ。

(3) 掲示板の充実

- ① 各教科、各学年の掲示板等に新聞記事を積極的に掲示。
- ② 生徒玄関におけるN I E コーナーの活用。

(4) 学校行事、総合的な学習の時間等における新聞づくり

- ① 学習のまとめを行う際に、新聞形式を取り入れた掲示。
- ② 新聞作成指導等の出前授業。

(5) 新聞社への投稿

- ① 国語科による南日本新聞（「若い目」）等への積極的な投稿。

(6) 全校朝会、学年朝会等における講話での新聞記事活用

3 実践内容

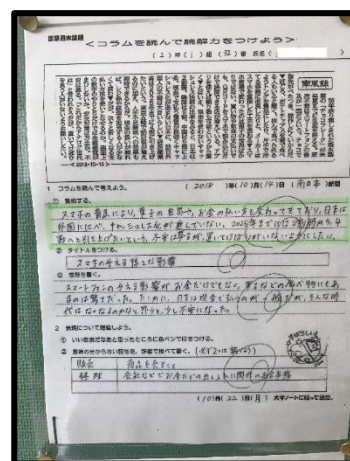
(1) 各教科における授業での新聞活用

各教科において新聞記事を教材として授業で工夫しながら活用している。

<国語科の実践例>

2年生の国語の単元「いにしへの心を訪ねる」では、昔の人の見方や考え方に触れ、古典に親しむため、教科書の平家物語を読んで、生徒一人が「平家物語新聞」を作成しコラムも記載した。

また、全学年、読解力をつけさせるために、新聞のコラムを読んで考える週末課題や夏休み課題（作文）に新聞感想文コンクールに向けて、夏休みの課題（作文）を出している。



(2) 新聞コーナーの設置

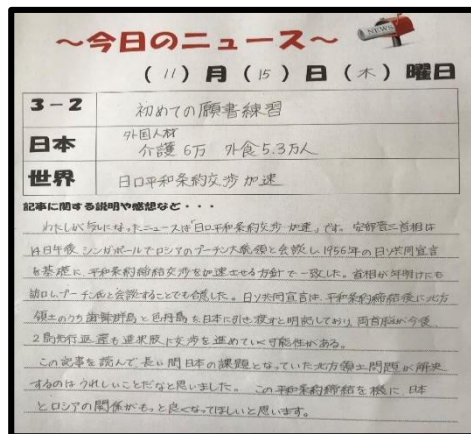
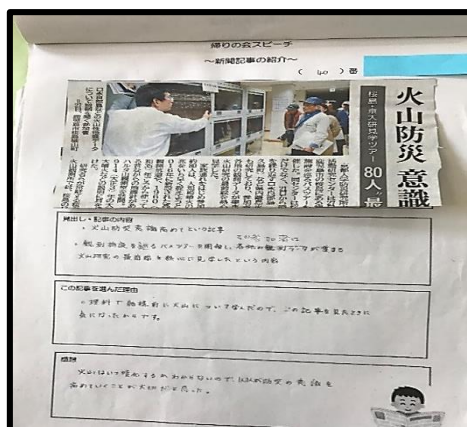
9月から12月の4か月間の期間に、生徒の新聞への興味・関心を高め、多様な見方や考え方を知るために、自由に各新聞社の記事を閲覧し、比較することができるように、生徒玄関に「新聞コーナー」を設置している。

また、生徒の原稿が掲載された「若い目」やNIEに関する新聞記事等も掲示するようにしている。



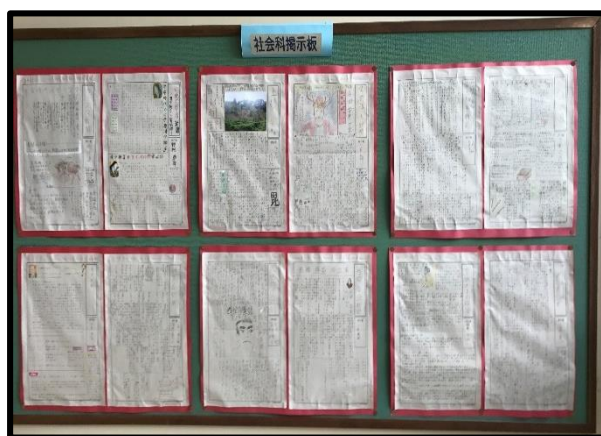
(3) 朝、帰りの学活等での新聞記事についての発表

朝の学活や帰りの学活等で、新聞記事の紹介や今日のニュースの紹介等を行い、意見や感想をまとめる活動や発表の活動に取り組んだ。生徒は、人の前で自分の考えや感想を述べることで、読み取る力や表現する力が身についてきている。



(4) 掲示板の充実

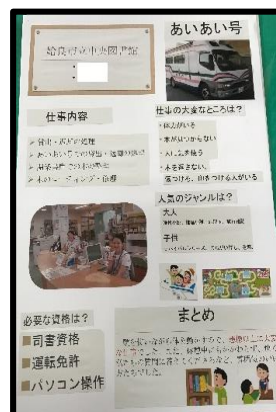
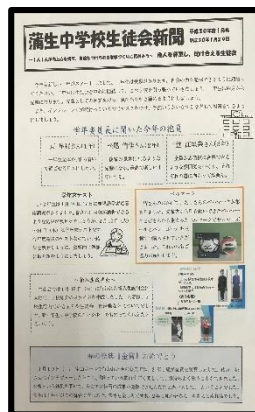
各教科、各学年の掲示板等に新聞記事を積極的な掲示を行った。理科では身近にある科学として、新聞記事を使って興味関心を持たせるための掲示を行っている。また、社会科でも人物に関する新聞を作成した。



(6) 学校行事、総合的な学習の時間等における新聞づくり

職業調べ、高校調べ、福祉体験学習、職場体験学習等のまとめとして、新聞の形式等を参考にしたものを作成して掲示した。

また、生徒会新聞作成においても新聞を参考にしながら、見やすい分かりやすい紙面になるように心がけた。



(7) 新聞社への投稿

南日本新聞（「若い目」）等への積極的な投稿を国語科，担任が生徒への投稿を勧めている。



(8) 全校朝会，学年朝会等における講話での新聞記事活用

全校朝会，学年朝会の際に，時期や学校行事に合わせた新聞記事を積極的に活用した講話をするようしている。

3 成果と課題

N I E教育実践校として指定を受け，3年目の取組を終えようとしている。これまでの新聞活用に加え，教育活動の様々な場面において，各教科や生徒が新聞活用を意識した取組がなされてきた。

成果として，物事を多角的に見たり，幅広い視点から自分の考えを整理して人前で簡潔に話したりするという「思考力・判断力・表現力」の向上も見られた。

また，教科指導や学級経営においても，新聞の特性を生かした教材作成や新聞づくりによる主体的・対話的で深い学びの取組も図られてきた。

課題として，実践例を紹介するなどの取組の研修の時間確保が必要であった。